





③ 若者持続可能プロジェクト会議と題して、出羽・日貫・日和の3地区の若者団体で今までの実績と情報共有、①で各公民館主事に協力して集めてもらった若者団体ヒアリングシートの結果を確認し、リーフレットをどのような内容にしていくなかについて協議を行なった。

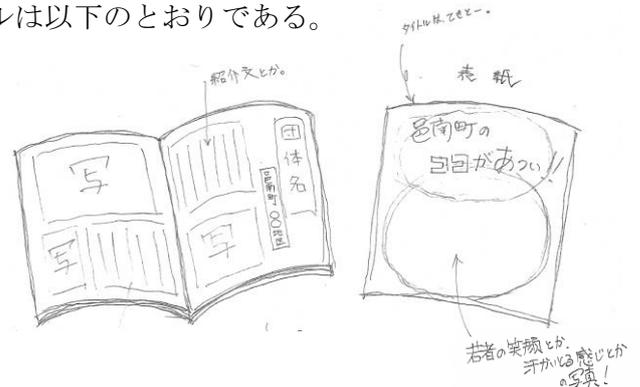
#### 4 評価と成果

講演会は地域の若者が多数参加している印象を受けた。参加者のアンケートにも、「若い人が多くて感銘を受けた」との声があった。最後の質疑応答の時間でも若い方が質問をしている姿が目立った。また、講演会終了後は水谷氏との懇親会に町内の若者団体代表者の一部が参加し、意見交換をするとともに「will会」を結成した。他地域の若者団体の代表者との交流の輪が広まった。

また、各公民館区で行ったヒアリングシート調査を全て集めた結果、町内で21団体の若者が各地域で活動していることが分かった。公民館主事も知らなかった団体も多数あった。結果を見てみると、悩みの部分でやはり人手不足や高齢化、なかなか全員が集まる機会が少ないなどといった内容が多かった。他に気づいた点としては、活動内容や悩みなどを事細かに記入してくださった団体もいれば、一言だけ書かれている団体もあり、各団体の中でも温度差があるように感じた。

#### 5 今後の課題と見通し

今後はリーフレットの作成を中心に行っていきたい。現在考えているリーフレットのモデルは以下のとおりである。



各団体の歴史・想い・紹介のほか、各団体の拠点を示した邑南町のマップなど掲載していく。

また、このリーフレットを邑南町PR用ツールや社会教育の教材として活用していきたいと考えている。具体的には、転入してこられた方などにこのリーフレットをお渡しし、地域の紹介やこんな楽しそうな若者団体がいるという紹介ができる。また、町内の子ども達にこのリーフレットを見てもらい、地域で頑張っている大人の姿を知ってもらうことで、「近所の大人達楽しそう！こんな大人になりたい！この地域が好き！」という想いを子ども達に持たせ、郷土愛を育むことができる。

そのために、ヒアリングシートの記入に協力してくださった若者団体の代表者ともそれぞれ話し合いをし、内容をさらに詰めていく予定である。他の地域では見たことの無いようなインパクトを持ったリーフレットを作成していく。これによって町内の若者同士が繋がるきっかけになり、若者全体の結束力を深め、「自分たちの地域を自分たちで創る」という志を持った若者の育成促進に繋がる。若者だけでなく、その若者たちの子ども達のような次世代にもこの郷土愛・使命感・当事者意識が受け継がれていくことを期待する。

(文責：邑南町教育委員会 山本萌美)